



«2020年3月期 第2四半期»
決 算 説 明 会

2019年11月6日

エレマテック株式会社

東京証券取引所 市場1部 CODE : 2715

URL : <http://www.elematec.com>

I R 問い合わせ先 : 経営企画・人財開発部 E-mail: ir@elematec.com TEL: 03-3454-3526

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2019年9月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

決算報告

2020年3月期 第2四半期連結累計期間

elem

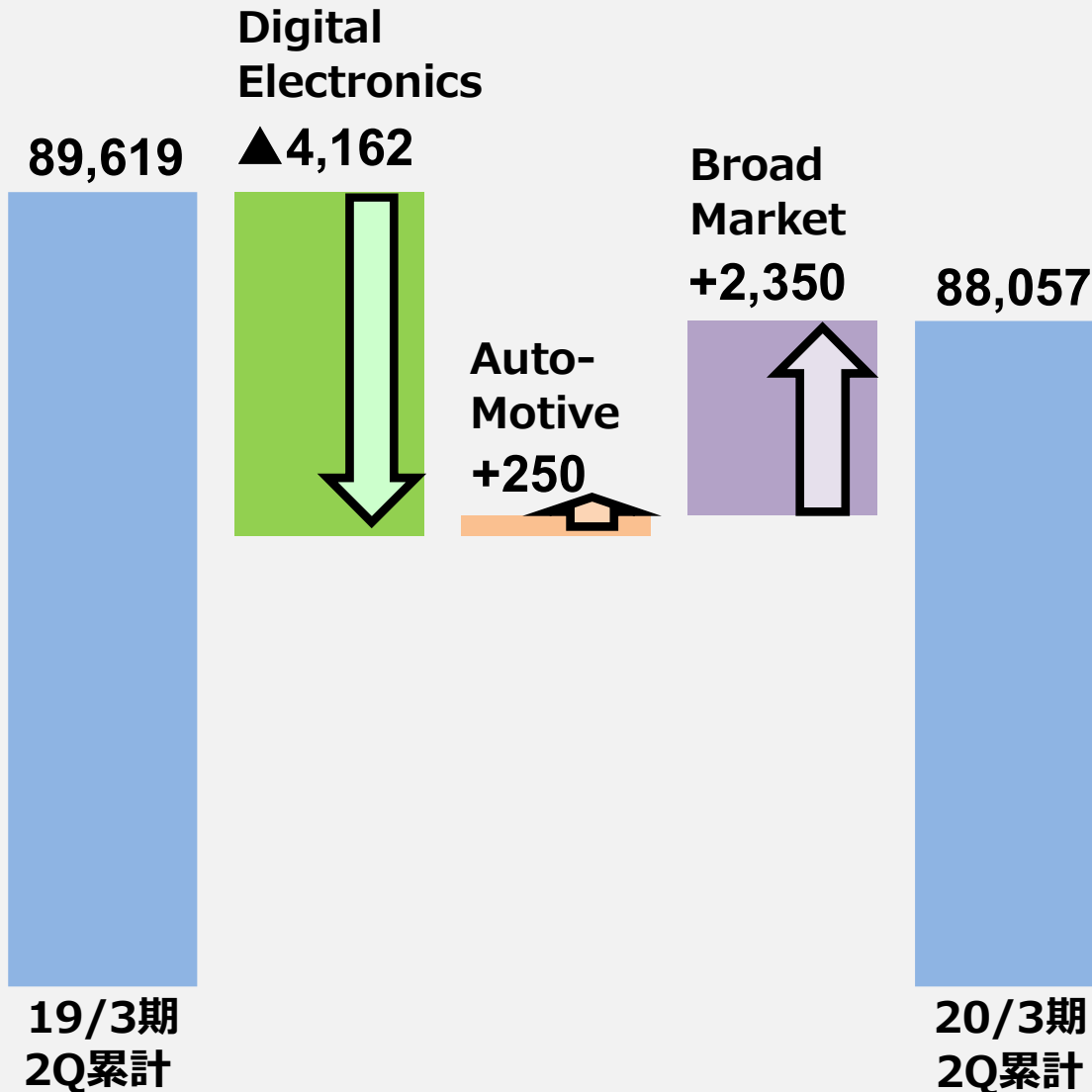
決算ハイライト

単位：百万円	19/3期 2Q累計 (USD=110.26円)	20/3期 2Q累計 (USD=108.60円)	前期比	増減要因
売上高	89,619	88,057	▲1.7%	スマートフォン関連部材の 販売減少による減収
売上総利益	9,144	8,559	▲6.4%	売上減少に伴う減少
売上総利益率	10.2%	9.7%	▲0.5pt	
販売管理費	6,096	6,232	+136	人員増、昇給による 人件費の増加
営業利益	3,048	2,326	▲23.7%	
経常利益	2,926	2,262	▲22.7%	
当期純利益	2,125	1,671	▲21.4%	
EPS	51.91円	40.82円	* 2019年6月1日を効力発生日として株式分割を実施 (1株につき2株)	
1株当たり配当金	15円	17円	2019年3月期のEPS及び1株当たり配当金は 当該期間の期首に株式分割が行われたと仮定し計算	

マーケット別売上増減要因

前期比 売上高増減内訳

単位：百万円



Digital Electronics

【前期比】 ▲4,162百万円(▲9.3%)
(44,817百万円 ⇒ 40,655百万円)

モバイル ▲1,972百万円

電気・電子部品 ▲1,633百万円

Automotive

【前期比】 +250百万円(+1.9%)
(13,359百万円 ⇒ 13,609百万円)

Broad Market

【前期比】 +2,350百万円(+7.5%)
(31,442百万円 ⇒ 33,792百万円)

アフターマーケット +1,999百万円

医療機器 +587百万円

販売費及び一般管理費の状況

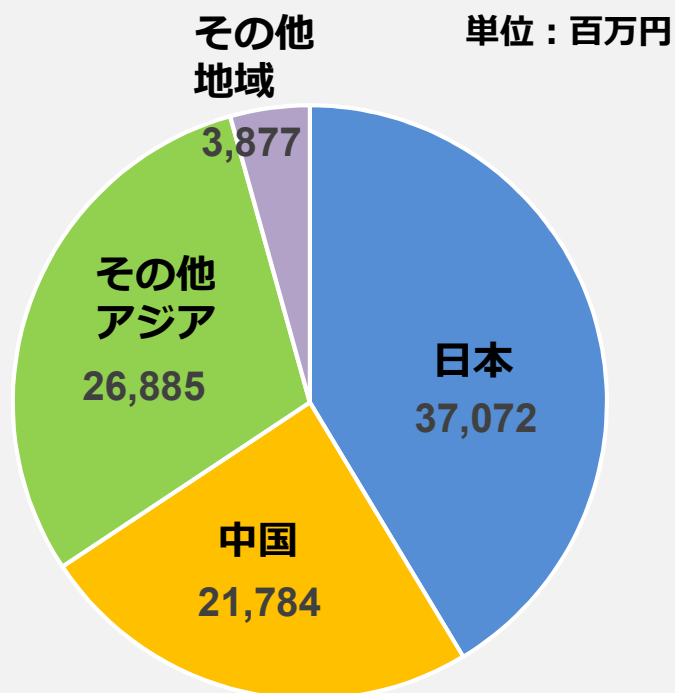
5

単位：百万円	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計	増減額	増減要因
人件費	3,130	3,258	+128	人員増、昇給による増加
荷造運賃	989	983	▲6	売上減少に伴う減少
その他	1,975	1,990	+14	IT関連費用の増加
販売管理費	6,096	6,232	+136	売上高販管費率 6.8% ⇒ 7.1%

国内・海外売上高

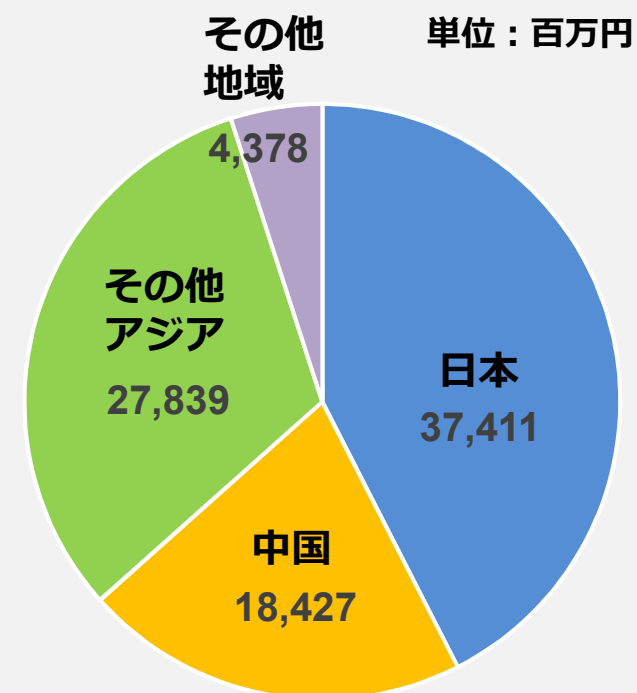
6

2019年3月期2Q累計



2019/3月期	売上構成比
国内	41.4%
海外	58.6%
中国	24.3%
その他アジア	30.0%
その他地域	4.3%

2020年3月期2Q累計



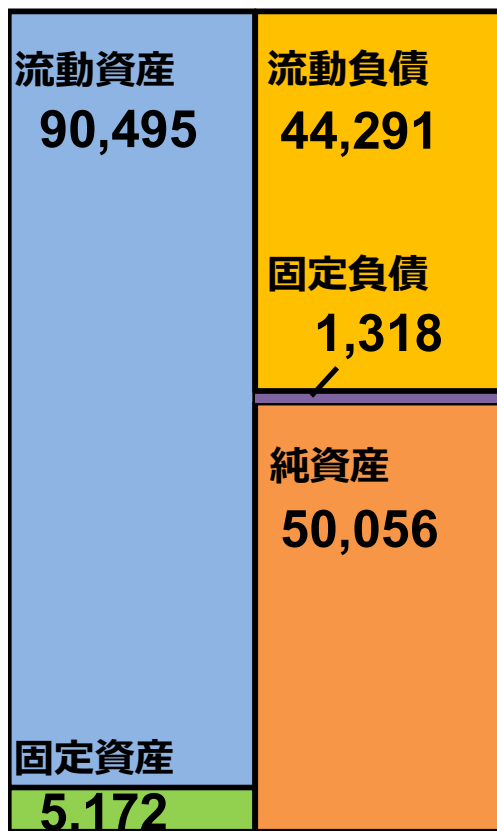
2020/3月期	売上構成比
国内	42.5%
海外	57.5%
中国	20.9%
その他アジア	31.6%
その他地域	5.0%

連結貸借対照表

バランスシート

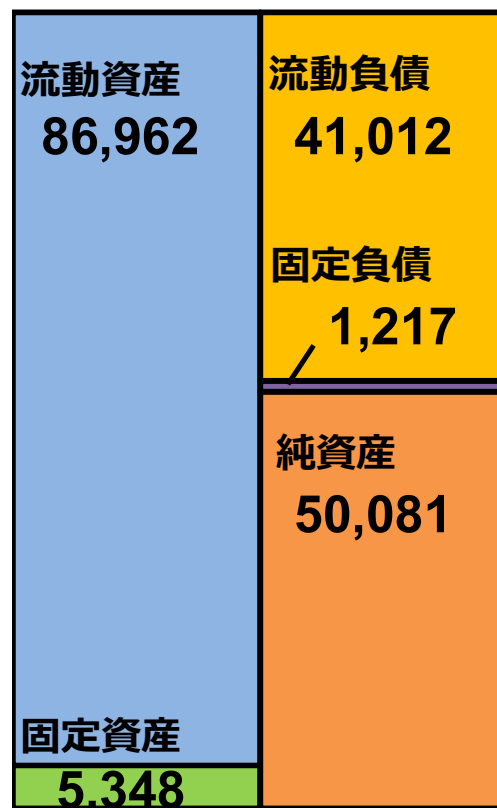
単位：百万円

総資産 95,667
自己資本比率 52.3%



2019年3月期

総資産 92,311
自己資本比率 54.3%



2020年3月期 2Q

主な増減要因

流動資産 ▲3,532

- 受取手形・売掛金 ▲2,660
- 現預金 ▲893

固定資産 +176

- リース設備資産 +394
- * 会計処理方法の変更に伴う計上

負債 ▲3,381

- 支払手形・買掛金 ▲3,412
- リース負債 +396
- * 会計処理方法の変更に伴う計上

純資産 +25

- 利益剰余金 +934
- 為替換算調整勘定 ▲921

連結キャッシュ・フロー計算書

8

キャッシュフロー

単位：百万円	19/3期 2Q累計	20/3期 2Q累計
営業C/F	3,564	678
投資C/F	▲96	▲96
財務C/F	▲827	▲817
現金及び現金同等物に 係る換算差額	395	▲658
現金及び現金同等物の増減	3,036	▲893
現金及び現金同等物の期末残高	28,930	24,821

主な増減要因

営業CF

- 税金等調整前四半期純利益 + 2,268
- 売上債権の減少 + 1,852
- たな卸資産の増加 ▲437
- 仕入債務の減少 ▲2,516
* 19/3期末 銀行休業日影響
- 法人税等の支払額 ▲971

投資CF

- 有形固定資産の取得 ▲123
- 無形固定資産の取得 ▲48

財務CF

- 短期借入金の純増 + 22
- 配当金の支払額 ▲736

通 期 業 績 予 想

2 0 2 0 年 3 月 期

e|em

スマートフォン関連ビジネスの低迷により、前回公表の予想値を下回ることが見込まれるため、通期の業績予想を修正

単位：百万円	19/3期	20/3期 予想	増減(19/3期vs.20/3期)
売上高	183,399	188,000	+2.5%
営業利益	6,335	5,700	▲10.0%
経常利益	6,188	5,500	▲11.1%
当期純利益 * ()は19/3期特殊要因除く数値	3,364 (4,448)	3,950	+17.4% (▲11.2%)
EPS * ()は19/3期特殊要因除く数値	82.17円 (108.65円)	96.47円	—
ROE * ()は19/3期特殊要因除く数値	6.9% (9.1%)	7.8%	—

* 【19/3期特殊要因】

：当社グループ内配当方針の見直しに伴い繰延税金負債を計上した結果、法人税等調整額1,084百万円を計上

* 2019年6月1日を効力発生日として株式分割を実施（1株につき2株）

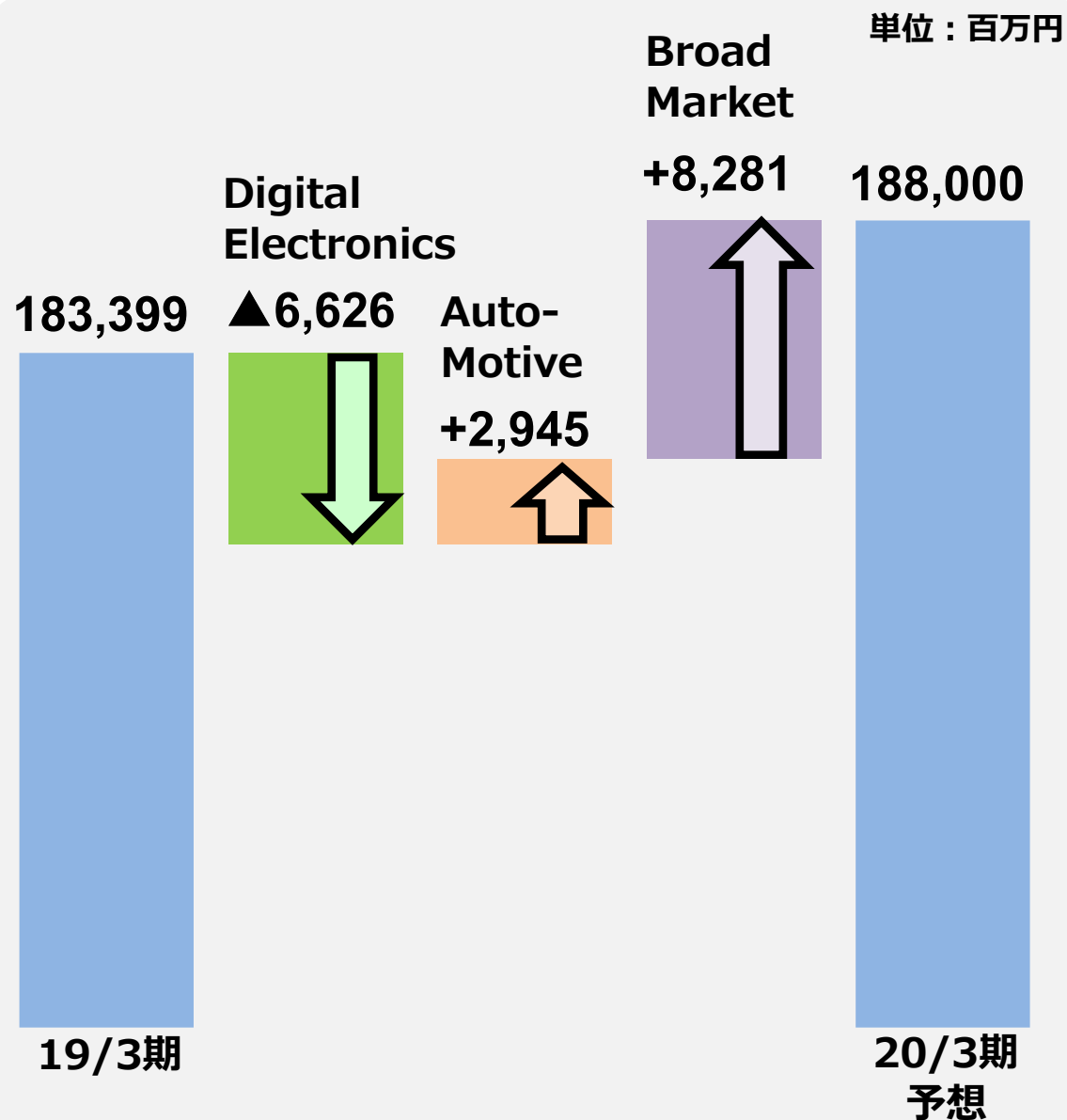
2019年3月期のEPSは当該期間の期首に株式分割が行われたと仮定し計算

* 20/3期連結業績予想 前提為替レート USD= 105 円

連結業績予想 マーケット別売上増減要因

11

前期比 売上高増減内訳



Digital Electronics

【前期比】 ▲6,626百万円(▲7.3%)
(90,240百万円 ⇒ 83,614百万円)

モバイル端末	▲4,050百万円
液晶・TP・BL	▲1,765百万円
電気・電子部品	▲1,732百万円
アミューズ	+837百万円

*TP・BL=タッチパネル・バックライト

Automotive

【前期比】 +2,945百万円(+11.0%)
(26,780百万円 ⇒ 29,725百万円)

Broad Market

【前期比】 +8,281百万円(+12.5%)
(66,379百万円 ⇒ 74,660百万円)

アフターマーケット	+2,952百万円
モーター	+907百万円
インフラ・エネルギー	+856百万円
医療機器	+753百万円

連結業績予想 販売費及び一般管理費の状況

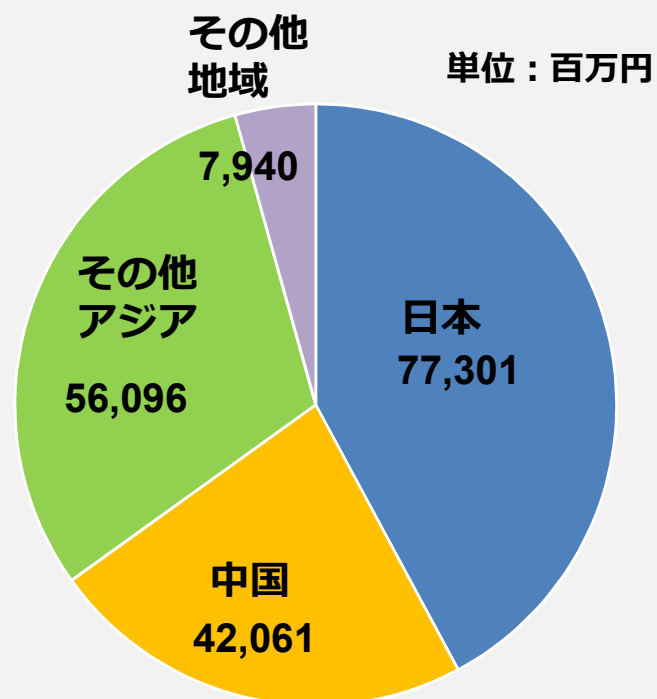
12

単位：百万円	19/3期	20/3期 予想	増減額	増減要因
人件費	6,230	6,709	+479	人員増、昇給による増加
荷造運賃	1,978	2,001	+23	売上増加に伴う増加
その他	3,840	4,040	+200	支店/営業所の移転、開設 による賃借料増加
販売管理費	12,049	12,750	+701	売上高販管費率 6.6% ⇒ 6.8%

連結業績予想 国内・海外売上高

13

2019年3月期

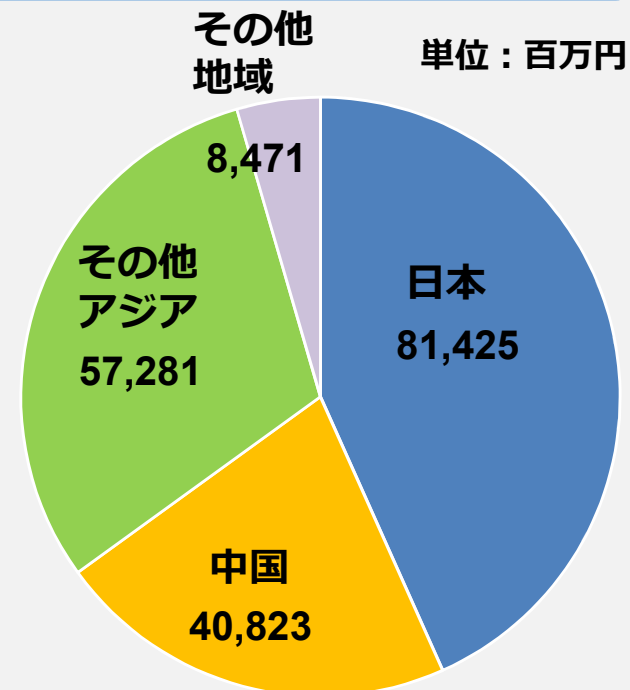


2019/3月期

売上構成比

国内	42.1%
海外	57.9%
中国	22.9%
その他アジア	30.6%
その他地域	4.3%

2020年3月期



2020/3月期

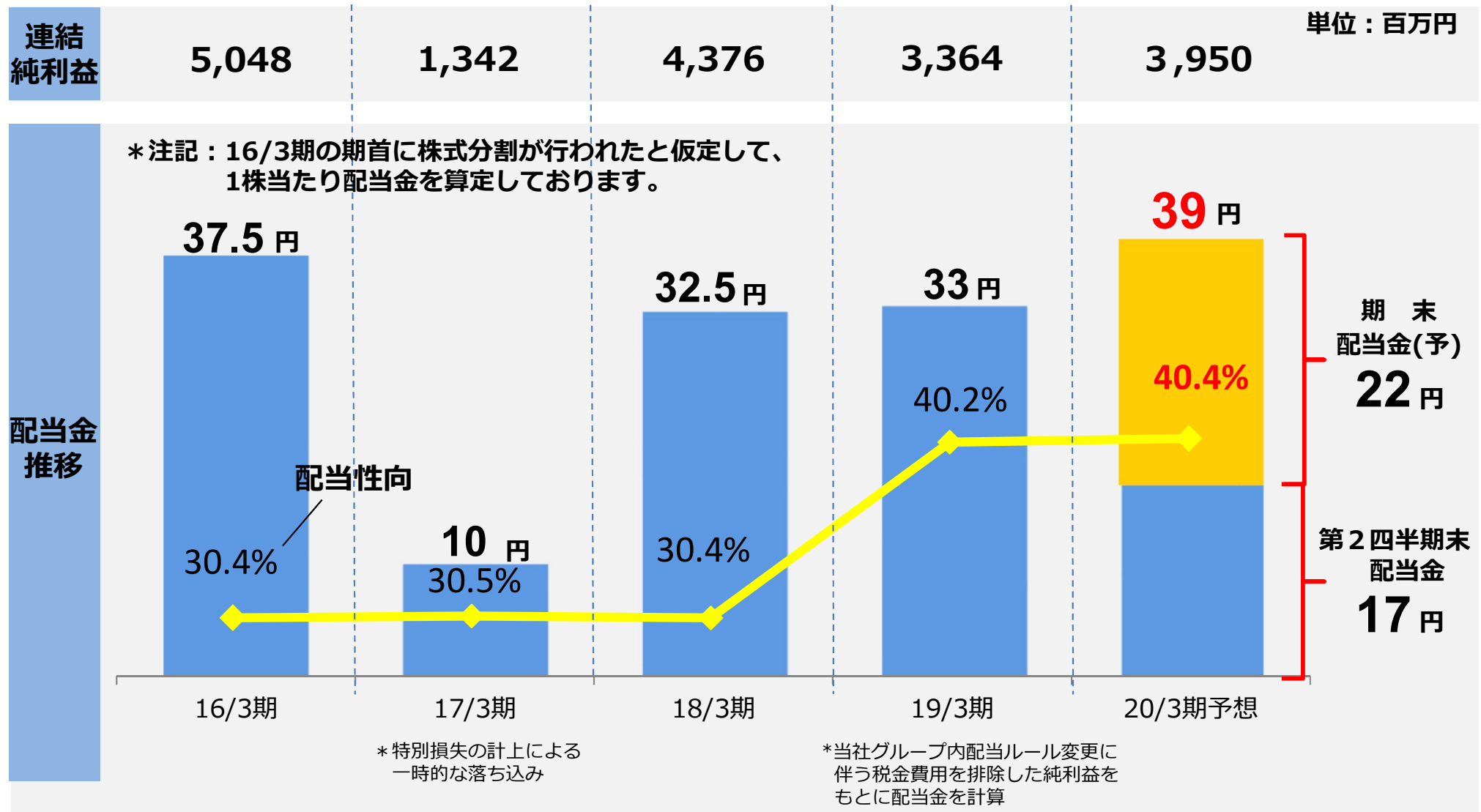
売上構成比

国内	43.3%
海外	56.7%
中国	21.7%
その他アジア	30.5%
その他地域	4.5%

配当方針及び配当予想

株主の皆様に対する利益配分を経営の重要課題と位置づけ、
中期的な業績の見通しや投資計画に基づくキャッシュ・フローの状況を勘案し、
配当性向(連結)40%以上にすることを基本方針とする

1株当たり年間配当金 推移(株式分割後)



中 長 期 戦 略

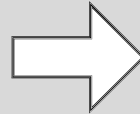
2020年3月期の取り組み

e|ematec 

e|em

①：自動車

自動車のCASE化の進展



エレクトロニクス製品の需要増加

エレマテックの取組み

エレマテックの強み

- ①付加価値の高いモジュール品の提案力
- ②豊田通商グループとのシナジー

取組みのポイント

電装化関連需要の取り込み

EV/HV/PHV向けを中心とした
部材の拡販

ヒーター、バッテリー

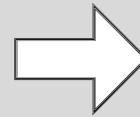
トラクションモーター

ヘッドアップディスプレイ

コックピットモジュール 関連部材

②：自動化/省力化

人手不足対策、業務効率化



ロボット及びロボット関連システム
の需要増

エレマテックの取り組み

エレマテックの強み

- ①従来ビジネスで培ってきた幅広いネットワーク
- ②高性能な商材とモノ作りの知識を活用した提案力

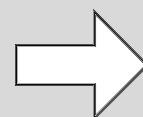
取り組みのポイント

- ①エレクトロニクス以外の分野へ
- ②製造ラインの全体最適な自動化提案

- ・他業種への展開
化粧品メーカー、食品メーカーの開拓
- ・ロボットに加えて製造ライン設備、
検査装置、副資材の提案

③：“B to B to C”ビジネスの強化

危険運転(あおり運転等)への対応
安全対策需要の急速な高まり



ドライブレコーダーの需要急増

エレマテックの取り組み

エレマテックの強み

- ①情報通信に関する技術ノウハウ
- ②顧客ニーズに応じた品質・コストを実現するグローバルSCM

取り組みのポイント
不具合等問題発生時の
サポート力強化(技術者の増員)

- ・ 取組体制の強化
技術者の増員、専門チームの発足
- ・ 運行管理システムの拡販
(通信型ドラレコ+バックカメラ+ソフト)
→バス・トラック等運輸業界向け
業務用車両向け

本日はご来臨賜り、
また長時間にわたりご静聴戴き、
まことにありがとうございました。

e|ematec

エレマテック株式会社

Elematec Corporation



会社概要

※下記の各データは2019年9月30日現在

商号 エレマテック株式会社 (英訳名 Elematec Corporation)
設立 1947年4月 (創立 1945年11月)
上場 東証1部 2005年3月 (東証2部: 2003年12月、JASDAQ: 2002年6月)
所在地 東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館19階

代表者
 代表取締役会長 かとう じゅん 加藤 潤
 代表取締役社長 よこで あきら 横出 彰

事業内容 エレクトロニクス専門商社

従業員 【連結】 1,174名

【単体】 452名

営業拠点 【国内販売拠点23ヶ所】
 本社・本店・16支店・5営業所

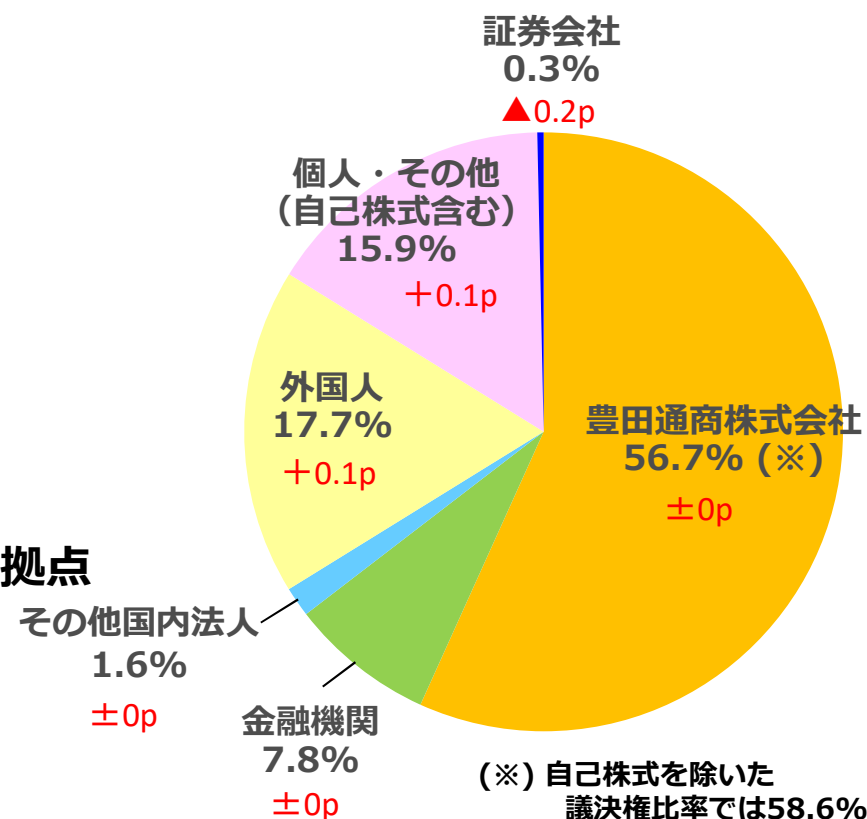
【海外販売拠点38ヶ所】
 中国 17拠点、その他アジア 16拠点
 北中米 4拠点、欧州 1拠点

資本金 2,142百万円

発行済株式数 42,304千株

株主数 2,950名

所有者分布状況 (2019年9月30日現在)



赤文字は、19/3末比の数字